

# 市政に対する

# 一般質問

各質問議員の  
QRコードからは、  
それぞれの一般質問の  
動画をご覧いただけます。



久保田 武 議員

## 空き家対策の具体的な内容は

### 代表質問

本市における戸建ての空き家数は383戸とのことですが、実態は更に多くあるものと思われ、今後も確実に増え続けていきます。管理不全の空き家は、周辺の住環境に悪影響を及ぼすだけでなく、市民の安心安全を脅かす危険なものもあります。

令和5年度から空き家対策係が新設され、今まで以上に効果的かつ迅速な事業の推進が可能になると思われますが、具体的にどのような事業を実施していくのか伺います。

※空家等の解消に向けた連携協定(令和5年2月)…民間事業者と協定を締結し、状態が悪く空き家バンクに登録できない物件等の流通支援や空き家の管理、解体、遺品整理等に関する相談対応を行っていきます。

### 答弁

平成26年度以降に空き家となった物件は調査が不十分で、現状を正確に把握できていません。

令和5年度は空き家対策係を新設し、市内全域を対象に実態調査を行い、現況を正確に把握した上で、空き家の状態に応じて、利活用や解体等を促していきます。管理不全の空き家になる前の有効活用に関して積極的に働きかけるとともに、特定空家等は状況の改善や解体に関して所有者に助言、指導していきます。

- 令和5年度当初予算について
- 複合交流拠点施設について
- 空き家対策の推進について
- いがしらリゾートについて
- 新産業団地について



一般質問はこちら



中村 和彦 議員

- 人口減少時代における取組について
- 中心市街地の活性化について
- 協働のまちづくりについて
- 地域の特色を活かした活性化策について
- 教育分野の諸課題について



一般質問はこちら

## 複合交流拠点の整備に向け、市民との対話の場を

### 代表質問

現在の図書館は老朽化が著しく、建替えを行う場合、目的別に施設を整備するのではなく、複合型の施設としてまとめた方が建設費や維持管理費を抑えられるメリットがあるなど、理にかなっていると考えます。

しかし、この施設整備については、いまだに疑問を抱く市民も多く、説明や意見交換の機会の少なさを指摘する声も聞こえてきます。

今後、市民とどのような形で意見交換を行っていくのか伺います。

### 答弁

令和5年度は一般公募による市民と指定管理者、市の対話の場となるワークショップを計画しています。これは図書館や子育て、地域交流それぞれの分野の専門家を招いて、市民の様々な声を聞き、その声を実際に施設運営に反映していくものです。

また、将来的には市民が主体的に講座やイベントの企画運営に携わっていくことで、市と指定管理者だけでなく市民とともに施設の充実を図っていきます。

※複合交流拠点整備事業に関する情報発信…メディアや市広報紙、市ホームページ、模型展示(庁舎1階ロビー)などにより周知してきました。



鶴見 和弘 議員

- 中学校の校則について
- 真岡市指定ごみ袋について
- 介護保険について



一般質問はこちら

## 中学校校則の今後の在り方は

### 質問

文部科学省によると、校則とは、「児童生徒が健全な学校生活を営み、より良く成長・発達していくため、各学校の責任と判断のもとにそれぞれ定める一定の決まり」とされています。

時代の背景や社会の要請でつくられた校則には、必要性がないものも含まれていると思われます。

そこで、今後の校則の在り方について、教育委員会の見解を伺います。

### 答弁

学校生活において、社会規範の遵守について適切な指導を行うことは重要であり、校則は教育的意義を有していると考えています。

ただし、校則の内容は生徒や地域の実態、時代などを踏まえ、絶えず見直す必要があります。

今後も、校則の意義を生徒や保護者と共有したうえで、学校や地域の実情にあった校則になるよう、必要に応じて、生徒を主体とした見直しを各中学校に促していきます。

※中学校の校則の基本的な内容…頭髪や制服、靴などの身だしなみや生徒の持ち物、学校内外での安全で節度ある生活や登下校を含む交通安全についてなど。

## 総合体育館への効率的で 災害に強い空調設備の設置を



柳田 尚宏 議員

- 総合体育館整備について
- 性の多様性を尊重するための制度導入について
- 学校給食について



一般質問はこちら

### 質問

以前に比べ猛暑期間が長く、夏休み以降も猛暑日が続くようになり、教室には空調設備が設置されてきましたが、体育館も無視できない状態になっています。また、体育館は非常時に避難所に指定されることが多く、防災の観点からも空調設備を設置することが必要不可欠と考えます。

そこで、まずは改修工事を検討している総合体育館に効率的で災害に強いGHP空調設備を設置する考えはあるか伺います。

※ガスヒートポンプエアコン(GHP)  
…LPガスを燃料としたガスエンジンで稼働するシステム。

### 答弁

総合体育館の改修にあたっては、長寿命化を図る施設として、利用者への安全性や快適性の観点から大規模な改修を考えています。

改修内容は内外装など多岐にわたります。その改修項目の一つである空調設備は、スポーツにおける熱中症対策の一環として期待できる設備です。

空調設備を導入することになった場合には、導入効果を踏まえ選択肢の一つとして検討していきます。

## 真岡IC・桜川筑西IC間における スマートインターチェンジの必要性は



池上 正美 議員

- 自転車保険等について
- 市営住宅について
- ごみの現状について
- スマートインターチェンジの建設について
- 高齢者特殊詐欺被害について



一般質問はこちら

### 質問

高速道路のインターチェンジ間隔は、平均で約10km、欧米諸国では半分の約5kmであるため、国としても欧米並みの整備を推進しています。また、人口減少が続く現在では、交流人口を増やす施策も必要と考えます。

北関東自動車道の真岡ICから桜川筑西ICまでは、14.9キロと長く、近隣でもスマートインターチェンジの新設や計画が増えていますが、必要性に対する考えを伺います。

### 答弁

スマートインターチェンジの設置に当たっては、国が定める要件を満たす必要があり、様々な整備効果が確実に見込まれることが重要であると考えています。さらに、費用対効果も勘案しなければならず、多角的な検討が必要であり、現在、国や県などの関係機関と協議をしながら検討を行っているところです。

本市としては、引き続き、整備効果や費用対効果などについて、関係機関と協議を進めていきます。



七海 朱美 議員

- 市及び関係団体のイベントや事業の発信について
- 歯周病検診について
- 文化振興のうち郷土芸能の振興について
- 有機農業の推進について



一般質問はこちら

## 有機農業に対する今後の取組は

### 質問

農林水産省では、みどりの食料システム戦略推進総合対策として、「オーガニックビレッジを2025年までに100市町村で創出すること」を目標に掲げています。

現在、オーガニックビレッジは全国で54地区ありますが、栃木県では小山市、市貝町、そして塩谷町の3地区となっています。

このような状況下で、真岡市は今後、有機農業についてどのような取組を展開していくのか伺います。

※オーガニックビレッジ…有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみの取組を進める市町村

### 答弁

引き続き、環境保全型農業直接支払交付金事業の活用に加え、みどりの食料システム戦略推進交付金など、新たな補助事業についても、広く周知を図っていきます。

また、県内の3市町が取り組んでいる事例を研究するとともに、県が今年3月に公表を予定しているちぎグリーン農業推進方針の内容を踏まえ、有機農業に取り組みやすい環境となるよう、生産者や関係機関と連携しながら推進していきます。

## 小学生・中学生への安全運転に関する周知は



飯塚 正 議員

- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 自転車運転の安全対策について
- 有機農業の普及・推進について
- 教職員の配置人数について



一般質問はこちら

### 質問

先日、真岡警察署に用があって行った際に、交通係の窓口で自転車の安全運転にかかわるパンフレットをもらいました。

私はこのパンフレットを見て、改めて自転車安全運転について認識させられたところです。

そこで、令和4年4月に栃木県自転車条例が施行されているもとの、小学生、中学生たちへの安全運転の周知はどうしているのか伺います。

### 答弁

学校では、学級活動や集団下校の集会時などにおいて、交通安全に関する指導を日常的に行っています。

市内の全ての小中学校で毎年交通安全教室を実施しており、例えば小学校中学年では、校庭に模擬道路を設定し、一時停止や交差点の横断など、安全な自転車の乗り方について、講師を招き指導しています。

中学校では、警察官から安全な自転車の乗り方の指導を受けるなどの取組を実施しています。



榊毛 隆行 議員

- いちごサミットについて
- いがしらリゾートについて
- 福祉行政について
- 情報モラル教育について
- 消防団について



一般質問はこちら

## 消防団活動における正確で確実な情報伝達方法の整備を

### 質問

火災や災害現場における消防団の活動は、各部が連携して対応をしているため、情報の共有、伝達は非常に重要で、活動の迅速さや質に大きく影響を及ぼします。現在伝達をしている無線機は、エリア制限や地形によって送受信感度が落ちるため、情報伝達する際に団員に大きな負担をかけています。

そこで、IP無線機などの正確で確実な情報伝達方法を整備する考えはあるか伺います。

### 答弁

現在、トランシーバーにて情報伝達しており、その通信距離は、市街地で約200m、郊外で約400mとなっていますが、火災現場において、消火栓等から水の中継するポンプ車までの距離が離れている場所や建物密集地等において、聞き取りにくい事例が発生しています。

火災現場では、正確かつ迅速な情報伝達が求められますので、高性能な無線機の導入等、情報伝達体制の整備に取り組んでいきます。

※IP無線機…携帯電話のデータ回線を用いて通信を行う無線機。

## 副議長も、一般質問を行えるようになりました!

副議長には、議長が職務を行うことができないとき、議長の代わりに職務を行うという大事な役目があります。

そのため、真岡市議会では、副議長は一般質問を行わないことになっていました。

しかし、令和4年12月定例会から、議会のさらなる活性化を目指し、副議長も一般質問を行うことができるようになりました。

(今までどおり、議長が職務を行うことができないときには、副議長は質問を取り下げ、議長の代わりに職務を行う場合があります。)

## 市議会の録画映像をインターネット配信しています

本会議の録画映像をインターネットで配信しています。真岡市のホームページまたは右のQRコードから「真岡市議会 録画配信」のサイトにアクセスしてご覧ください。

※配信されている映像・音声は、真岡市議会の公式記録ではありません。

公式記録については会議録(文字)をご覧ください。

